

第2章 根室市の現状

1 地域の現状

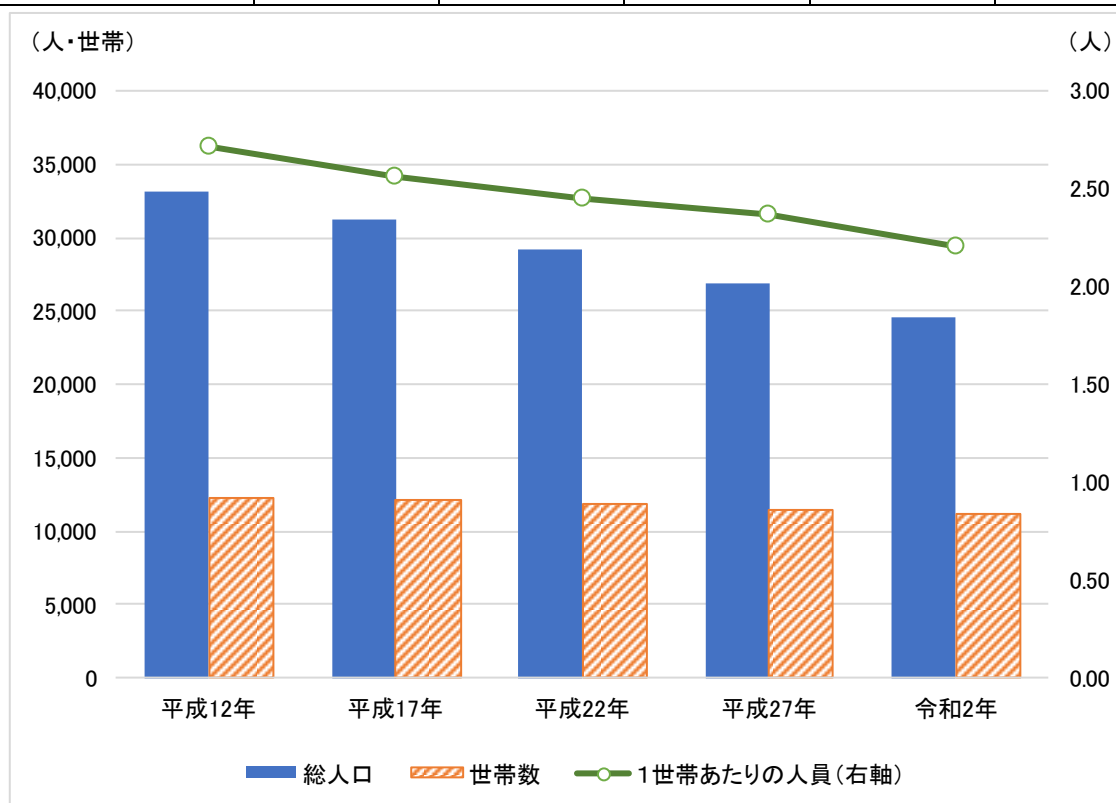
(1) 人口・少子化の現状

平成12年の根室市の人口は33,150人（12,222世帯）でありましたが、年々減少し、20年後の令和2年の調査では24,636人（11,153世帯）となっています。人口全体の減少率は25.7%となり、世帯数についても、1世帯あたりの人数が2.71人から2.21人と減少しており、過疎化とともに一人暮らしの高齢者が増えるなど核家族化が進んでいます。

■ 世帯数及び1世帯当たり人員の推移

（単位：人・世帯）

区分	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
総人口	33,150	31,202	29,201	26,917	24,636
世帯数	12,222	12,173	11,897	11,383	11,153
1世帯あたりの人員	2.71	2.56	2.45	2.36	2.21



資料：国勢調査

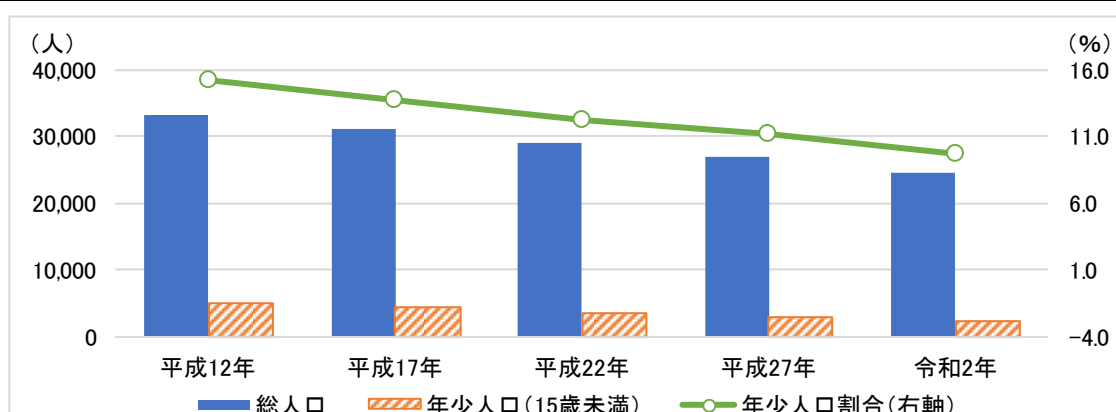
一方、年少人口（0～14 歳）においても、5,080 人から 2,396 人となっており、減少率は 52.8%と急激に少子化が進んでいます。この要因としては人口の減少とともに、出生数も減少し、平成 12 年では 283 人でしたが、徐々に減少し、令和 2 年では 115 人となり、死亡数を下回る状況となっています。

このような子どもの減少は、地域活力の低下や労働力の低下、また、核家族化や地域のつながりの希薄化など、子育て家庭の環境が変化することにより、出産や子育てに関する親の身体的・肉体的負担の増加が懸念されます。

■ 総人口と年少人口の推移

(単位：人・%)

区分	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年
総人口	33,150	31,202	29,198	26,917	24,636
年少人口(15 歳未満)	5,080	4,310	3,565	3,033	2,396
年少人口割合	15.3	13.8	12.2	11.3	9.7

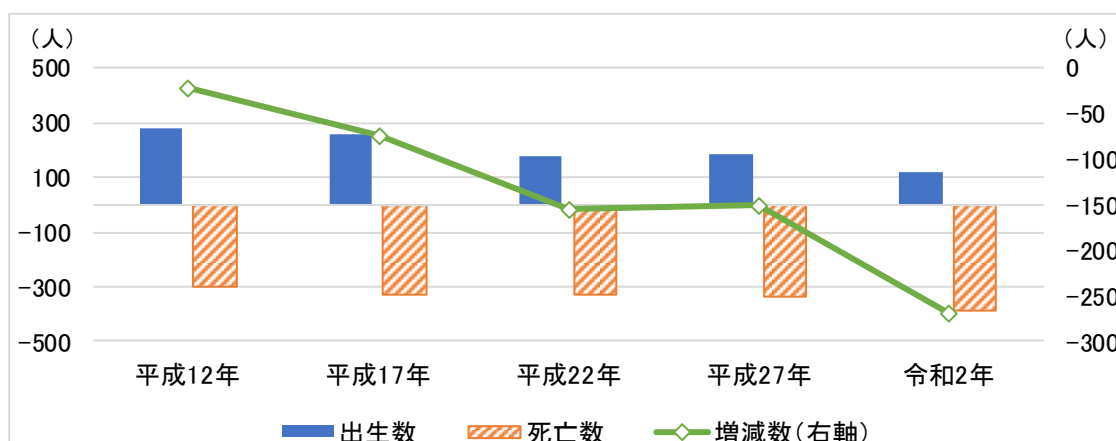


資料：国勢調査

■ 出生数・死亡数等の推移

(単位：人)

区分	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年
出生数	283	258	176	187	115
死亡数	303	332	331	336	405
増減数	-20	-74	-155	-149	-290



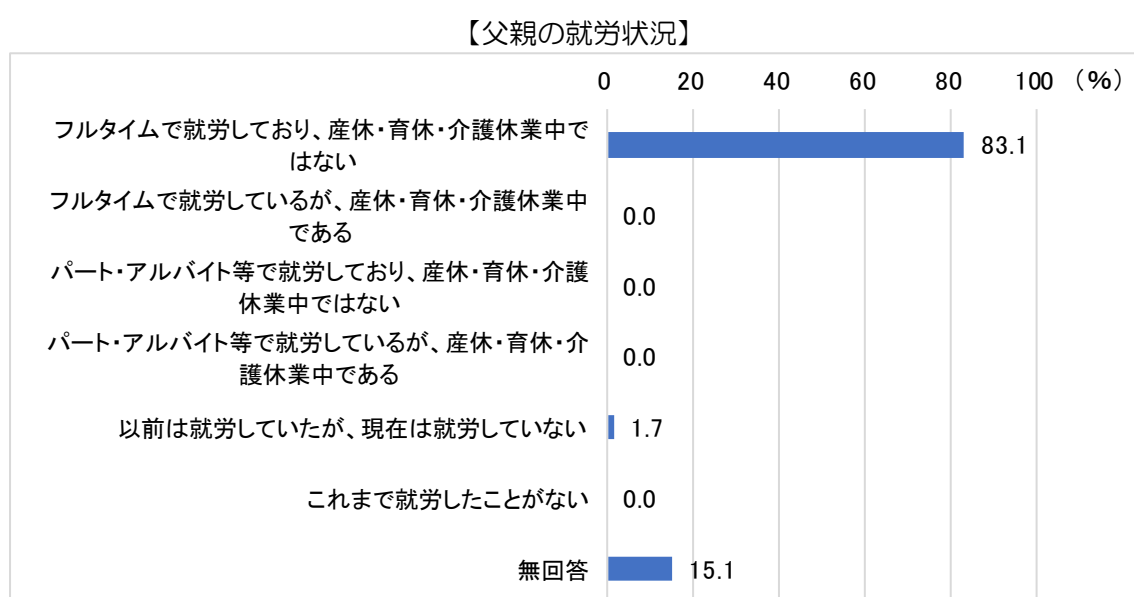
資料：根室市市民課統計資料

2 子育て家庭の現状

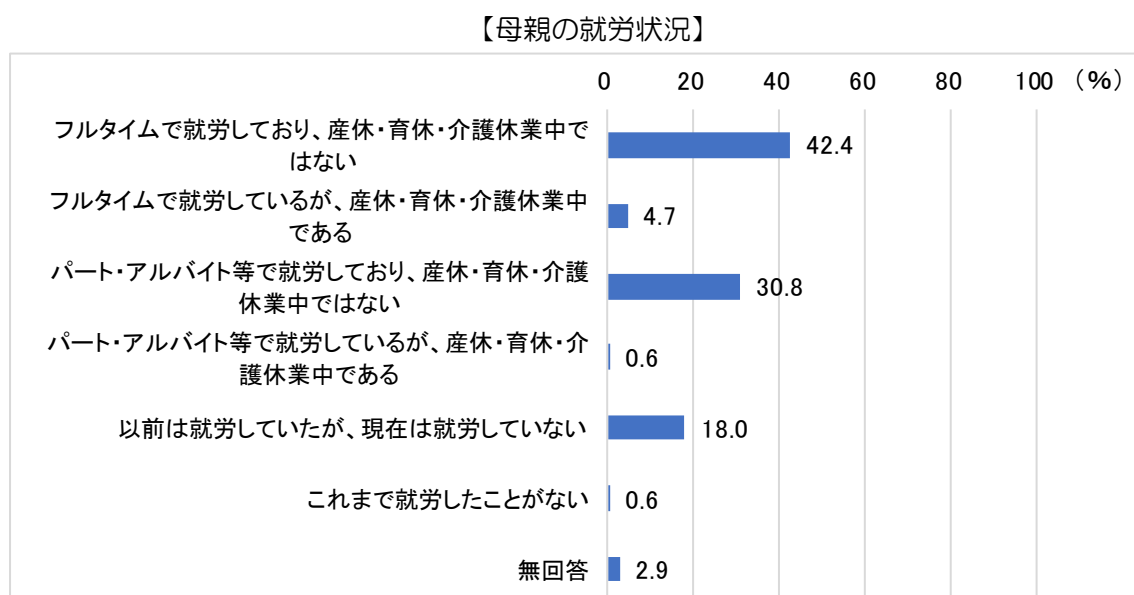
(1) 保護者の就労状況

令和2年の国勢調査によると、根室市の生産年齢人口は13,370人、そのうち就業者数は10,225人（76.5%）です。このうち女性の生産年齢人口は6,538人であり、就業者数は4,579人（70.0%）と女性の就業割合についても高いものとなっています。

根室市子ども・子育て支援アンケート調査の回答においても、父親の83.1%が「フルタイム」で就労しており、母親は42.4%が「フルタイム」、30.8%が「パート・アルバイト等」の合計73.2%が就労しています。また、「パート・アルバイト等」と回答した母親のうち、就労継続希望が63.0%、「フルタイム」への転換希望が31.5%となっており、母親の就労志向が高いことがうかがえます。

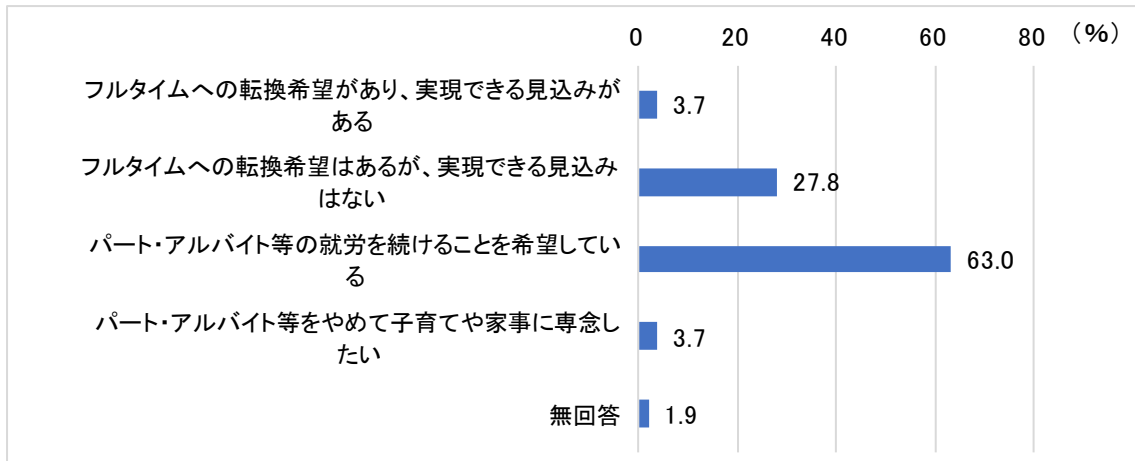


資料：根室市子ども・子育て支援アンケート



資料：根室市子ども・子育て支援アンケート

【母親のフルタイム転換希望】



資料：根室市子ども・子育て支援アンケート

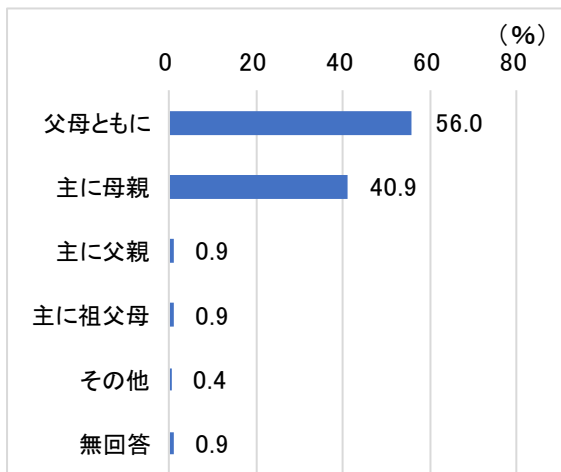
(2) 家庭での子育て

アンケート調査の回答では、「子育てを主に行っているのはどなたですか」との設問に対し、「父母ともに」が56.0%、「主に母親」が40.9%となっており、また、「お子さんの子育て（教育を含む）に日常的にかかわっている方はどなたですか」との設問に対し「父母ともに」が65.7%、「母親」が32.0%となっています。

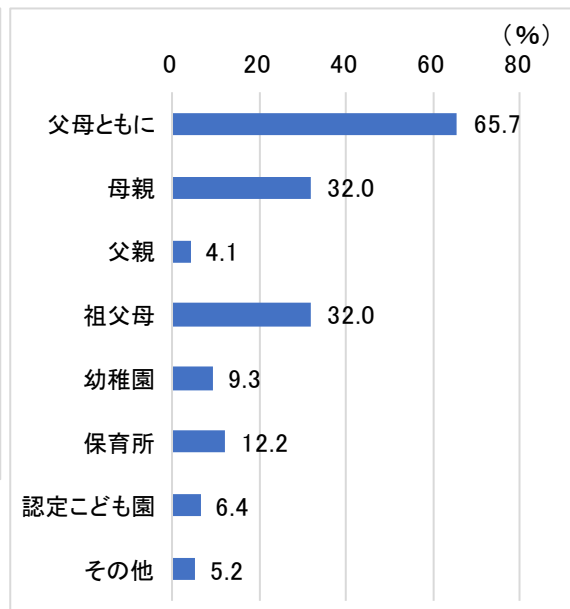
この回答結果から、母親のほか、父親の子育てへの関わりも高くあらわれています。

また、「祖父母」の関わりも32.0%となっており、祖父母が同居または、市内に住んでいるなどの傾向がうかがえます。

【主に子育てを行っている方】



【子育てに日常的にかかわっている方】



資料：根室市子ども・子育て支援アンケート

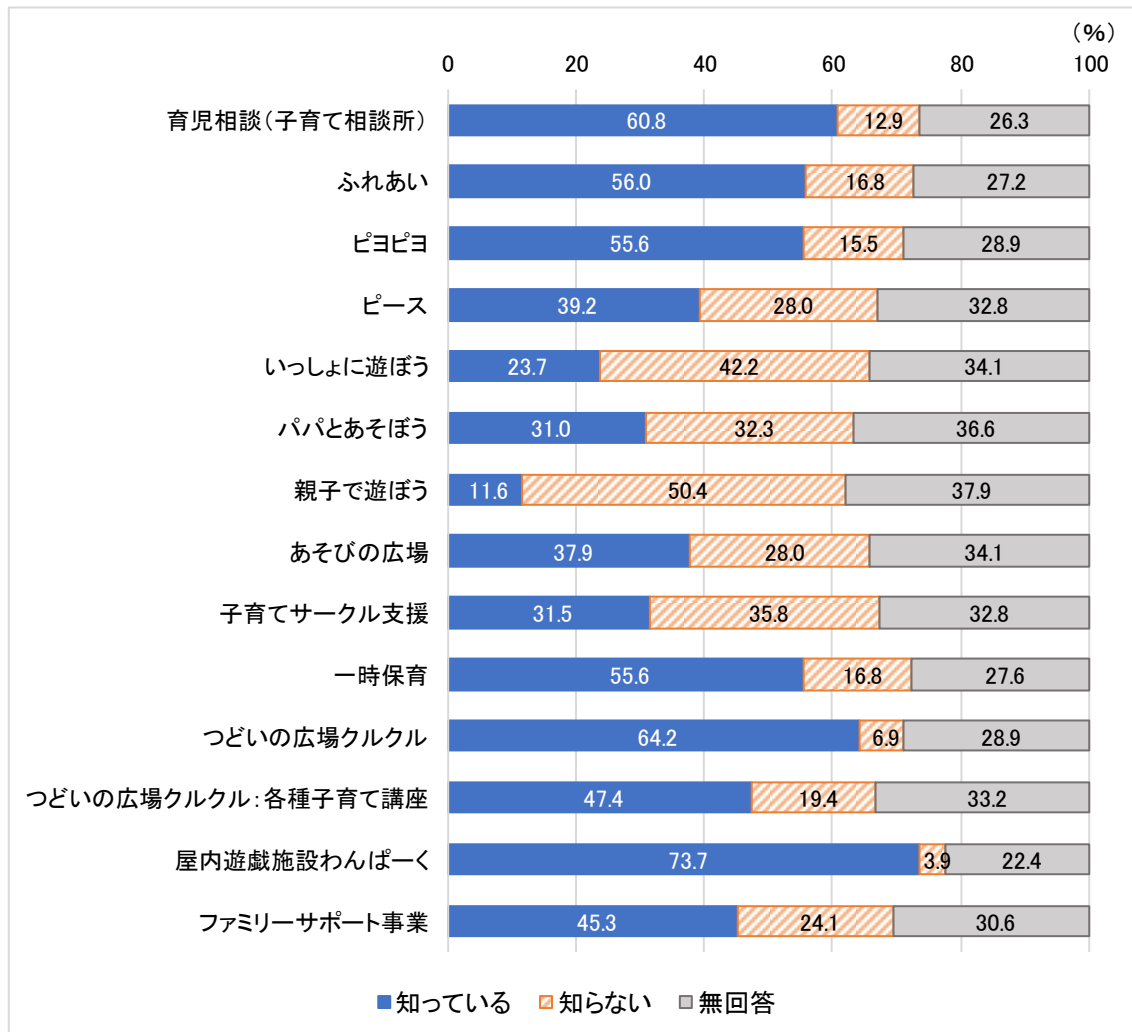
(3) 子育て支援事業の利用

「子育て相談所ぶらんこ」や「つどいの広場クルクル」についてのアンケート調査の回答では、その認知度は、「つどいの広場クルクル」で64.2%、「子育て相談所」で60.8%と高い傾向ではあるものの、利用していると回答したのは28.7%、利用していないが今後利用したいとの回答は17.6%と低く、事業の周知方法の工夫や魅力ある取り組みが必要と考えられます。

子育て相談所、つどいの広場クルクルでは、親子で安心して遊べる場所の提供や、育児についての悩みなどを相談できる心の拠り所として、また、令和4年4月より開設した「子育て世代包括支援センター」とも連携を図りながら、支援が必要な家庭と関係機関を繋ぐ子育て支援のコーディネート機能の向上を図っています。

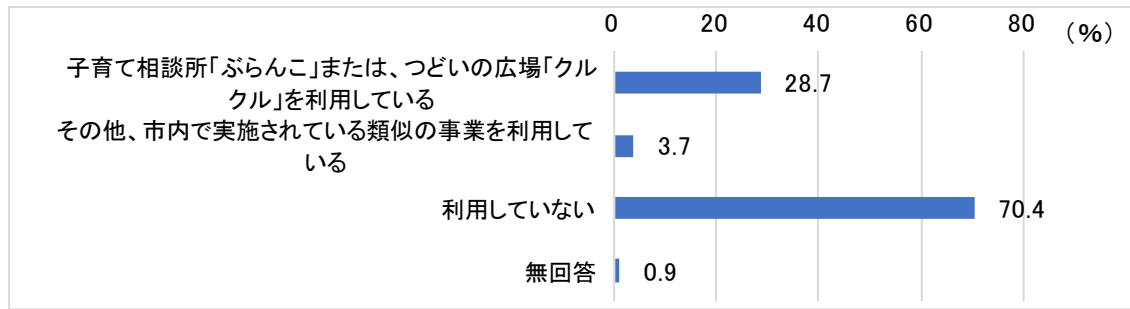
また、市立保育所で実施している一時保育については、平成26年度より給食の提供も行うなど利便性の向上に努めていますが、多様なニーズに対応した子育て施策の検討が必要です。

【子育て支援事業の認知度】



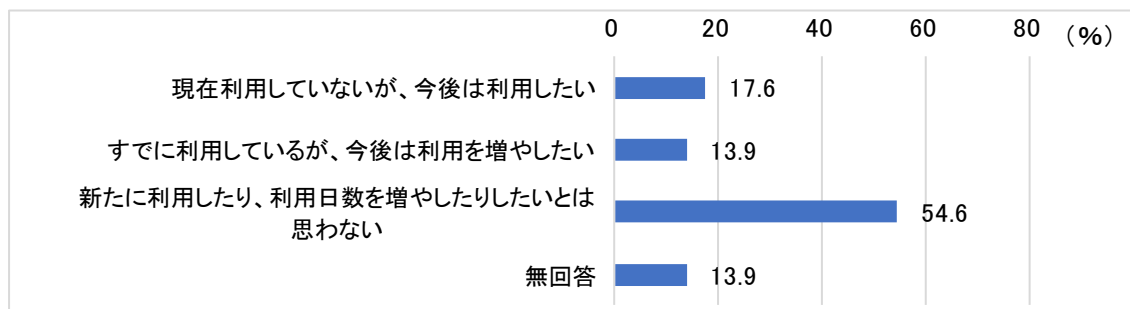
資料：根室市子ども・子育て支援アンケート

【「子育て相談所」や「つどいの広場クルクル」の利用について】



資料：根室市子ども・子育て支援アンケート

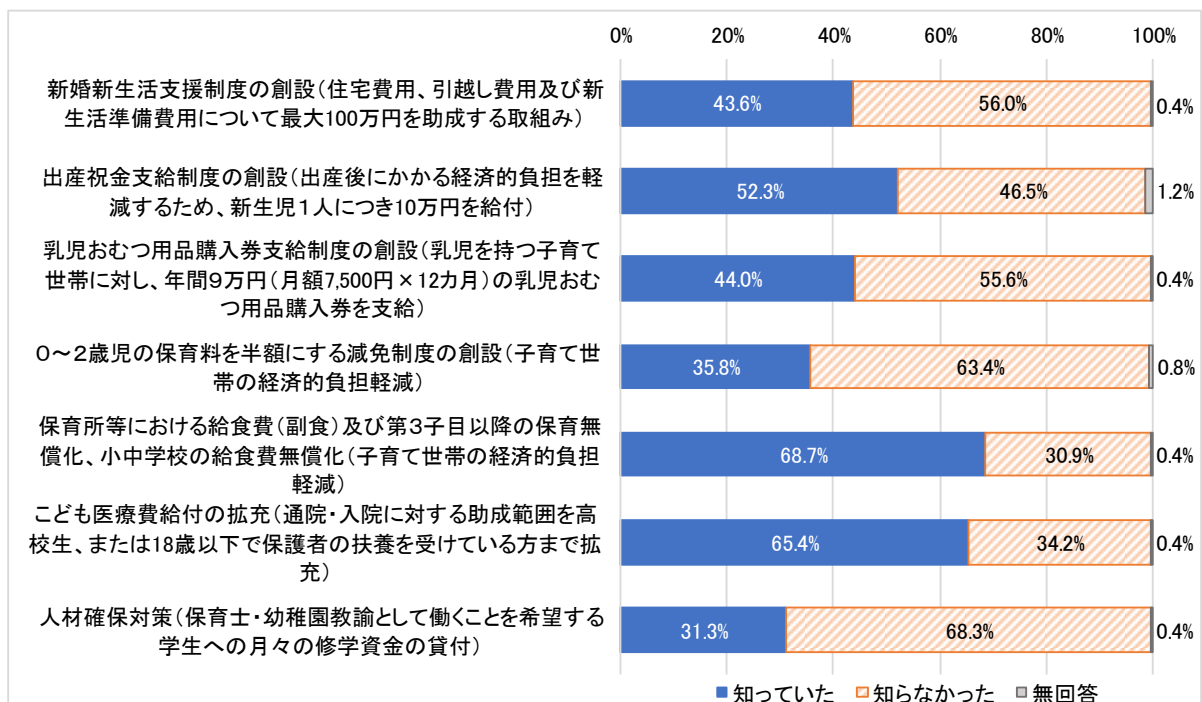
【「子育て相談所」や「つどいの広場クルクル」の今後の利用について】



資料：根室市子ども・子育て支援アンケート

(4) 子育て支援施策に対する認知度

令和6年に実施した市民意識調査では、根室市で実施している少子化・子育て支援に関する施策の認知度をみると20歳代から40歳代の回答として、「保育所の給食費及び第3子以降の保育料・学校給食費の無償化」で68.7%、「こども医療費給付の拡充」が65.4%と続き、各種無償化事業などについては幅広い層の子育て世帯や若者の間で認知度が高いことがうかがえます。



資料：根室市市民意識調査

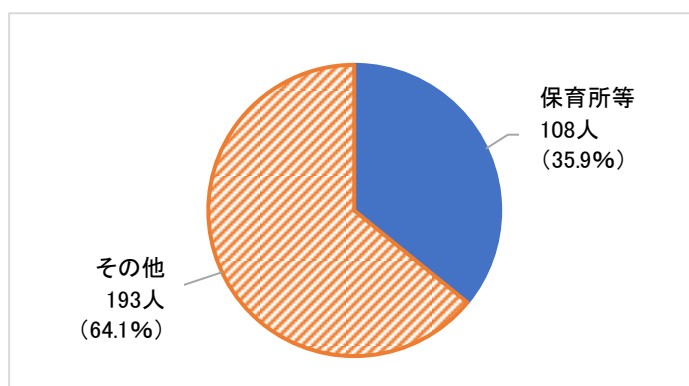
3 子どもの現状

(1) 保育所（園）などの現状

当市においては、未就学の乳児や幼児が利用する施設として、市立常設保育所3カ所、市立へき地保育所2カ所、民間常設保育園1カ所、民間小規模保育施設1カ所、合計7カ所の保育施設があり、民間の認定こども園、幼稚園については3園が運営されています。（民間小規模保育施設1カ所は令和6年10月より受入開始）

認定こども園、幼稚園、保育所（園）の利用状況は、少子化の影響により年々減少傾向でありましたが、多子世帯・幼児教育の無償化等の施策により、利用率が増加しており、令和6年4月現在、0～2歳児の人口301人のうち保育所（園）を利用している子どもは108人（35.9%）となっており、その他の子どもは193人（64.1%）となっています。

【0～2歳児の状況（計301人）】

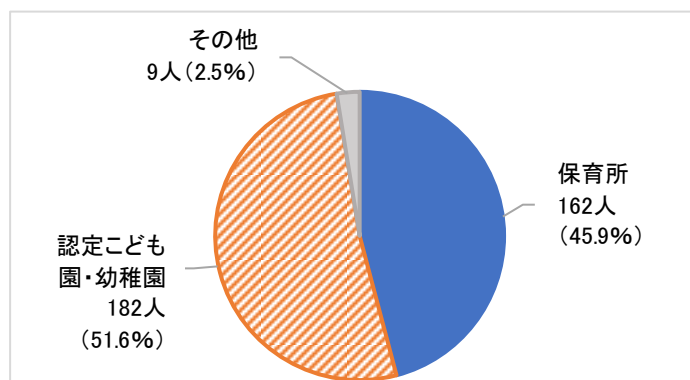


資料：根室市保育所・幼稚園入所状況一覧

また、3～5歳児の人口は353人で、このうち保育所（園）利用が162人（45.9%）、認定こども園・幼稚園利用が182人（51.6%）、その他は9人（2.5%）となっており、認定こども園・幼稚園に通う子どもが多い傾向にあります。

このような数値から、子どもが0～2歳の頃は自宅での子育てが多くを占め、3歳になる頃から、認定こども園、幼稚園、保育所（園）へ通う傾向が高くなっています。

【3～5歳児の状況（計353人）】

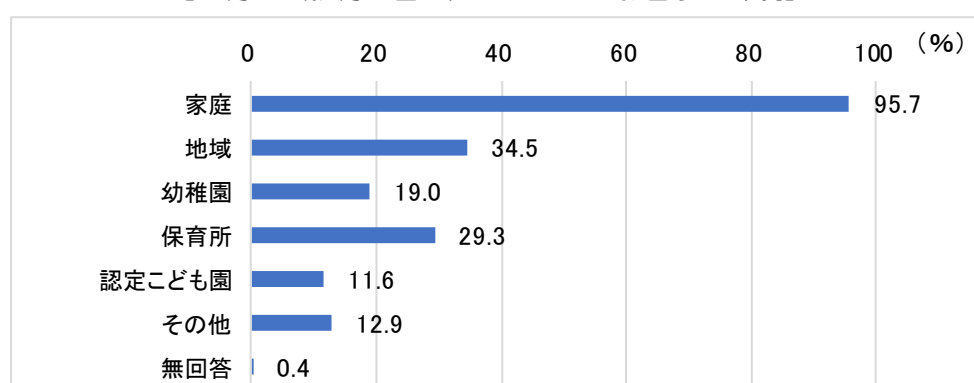


資料：根室市保育所・幼稚園入所状況一覧

保育所（園）・認定こども園に通う児童の対応としては、アレルギーや障がいのある児童、支援が必要な家庭などが増えてきており、多様化するニーズへの適切な対応が必要となっています。

保育所（園）や認定こども園、幼稚園を利用する保護者の視点として、アンケート調査の回答から解ることは、「お子さんの子育て（教育含む）に、もっとも影響すると思われる環境 全てに○をつけてください（複数回答）」との設問に対し、家庭が95.7%、地域が34.5%、保育所が29.3%、幼稚園が19.0%、認定こども園が11.6%となっていることから保護者は、家庭はもちろんのこと、地域や保育所、幼稚園、認定こども園などの幼児教育・保育施設の環境を重視していることがわかります。

【子育て（教育を含む）にもっとも影響する環境】



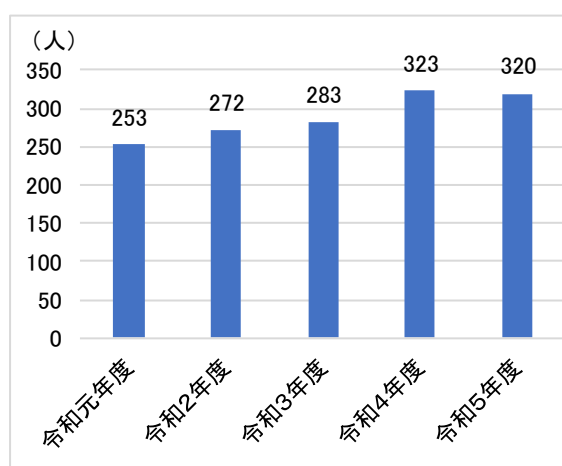
資料：根室市子ども・子育て支援アンケート

（２）留守家庭児童会などの登録状況

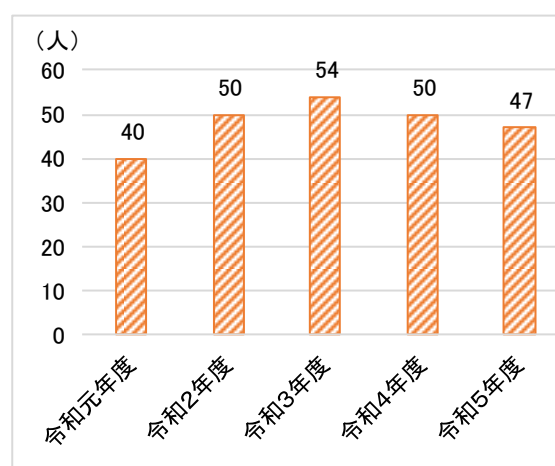
４つの留守家庭児童会（１年生から６年生）に登録し利用している児童は、令和６年１０月現在３３２人、登録児童会に登録し利用している児童は５１人となっています。

令和元年度から令和５年度の利用者数の推移をみると、留守家庭児童会は増加傾向、登録児童会の利用者数は５０人前後で推移しています。令和５年度の一人当たりの平均利用回数は、留守家庭児童会で約１３０回、登録児童会で約１５１回となっています。

【留守家庭児童会の利用者数（実人数）】



【登録児童会の利用者数（実人数）】

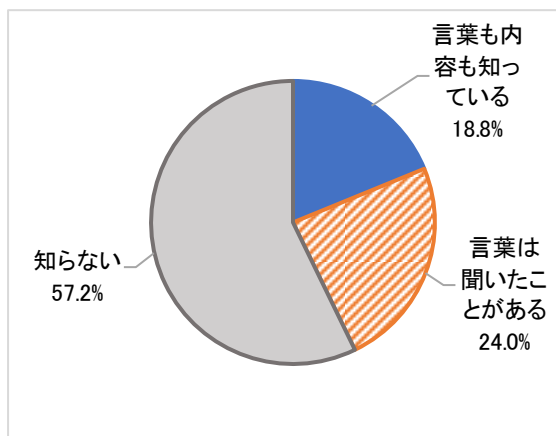


資料：根室市教育委員会社会教育課統計資料

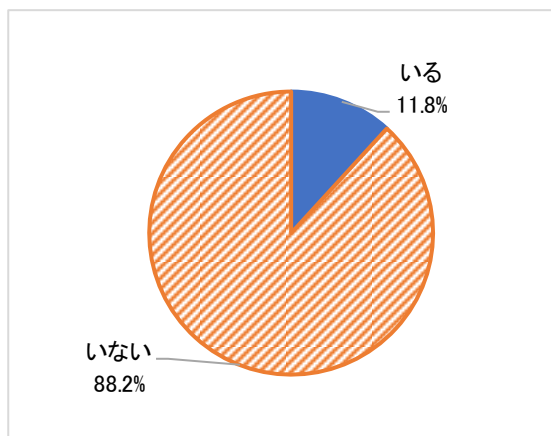
(3) ヤングケアラーの現状

アンケート調査の回答では、ヤングケアラーという「言葉も内容も知っている」と回答したのは 18.8%と認知度は低いものの、自分の勉強時間や遊ぶ時間を削ってでも、お世話にしなければならない家族が「いる」と回答した割合は 11.8%となっていることから、ヤングケアラーといわれる児童も一定数いることがうかがえます。

【ヤングケアラーという言葉の認知度】



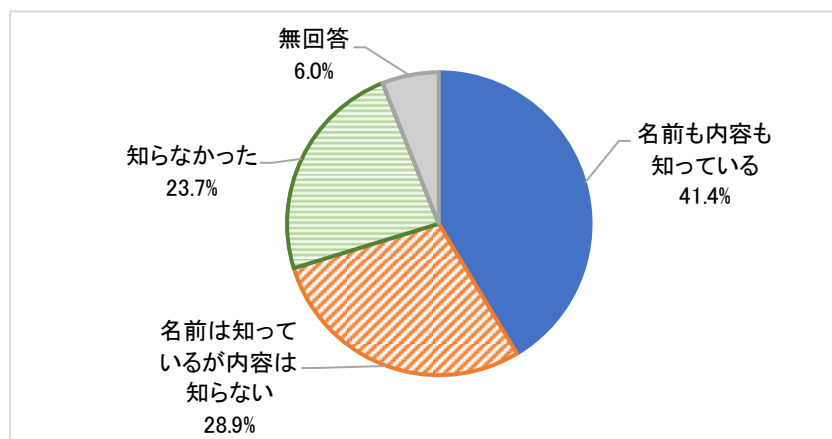
【お世話をしなければいけない家族の有無】



資料：根室市子ども・子育て支援アンケート

(4) こどもの権利の認知度

アンケート調査の回答では、こどもの権利を「名前も内容も知っている」と回答したのは 41.4%となり、「名前は知っているが内容は知らない」も 28.9%といることから、7 割以上の家庭では聞いたことがある状況であることがうかがえます。



資料：根室市子ども・子育て支援アンケート

4 母子保健の現状

(1) 低出生体重児の状況

出生数中の低出生体重児の割合は、全道・全国と比べて低い状況となっていますが、低体重の出生は、健康や心身の発達に影響が及ぶことがあり、親にとってもさまざまな不安や心配につながります。

妊娠・出産・育児期を通した、母子保健の知識の普及や関係機関との連携を通じた支援により、低出生体重での出生予防や出生後の支援の継続が必要です。

■ 低出生体重児の割合

(単位：人)

区分	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
根室市	76.3	69.6	56.6	103.8	81.8
北海道	91.5	91.6	94.5	94.7	—
全国	94.1	92.2	93.7	94.2	—

(注) 出生児 1,000 人に対する低出生体重児の割合。

(年間低出生体重児数÷年間の出生数)×1,000

資料：全国と北海道は人口動態調査（厚生労働省）、根室市は根室市こども支援課統計資料

■ 根室市出生数

(単位：人)

区分	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
出生数	131	115	106	106	110

資料：根室市こども支援課統計資料

■ 根室市の低出生体重児内訳

(単位：人)

区分	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
1000g未満	0	1	0	0	0
1000～1500g未満	2	1	0	0	0
1500～2000g未満	0	1	3	2	1
2000～2500g未満	8	5	3	9	8
合計	10	8	6	11	9

(注) 出生児 1,000 人に対する低出生体重児の割合。

資料：根室市こども支援課統計資料

(2) 妊婦の喫煙・飲酒の状況

根室市の妊婦の喫煙率は増加傾向にありましたが令和5年には減少し、令和3年の全道値とほぼ同じ割合になっています。産婦の喫煙率は大きな変化はなく、1割未満が喫煙している状況です。妊婦の飲酒率は1%未満の低い状況が続いています。

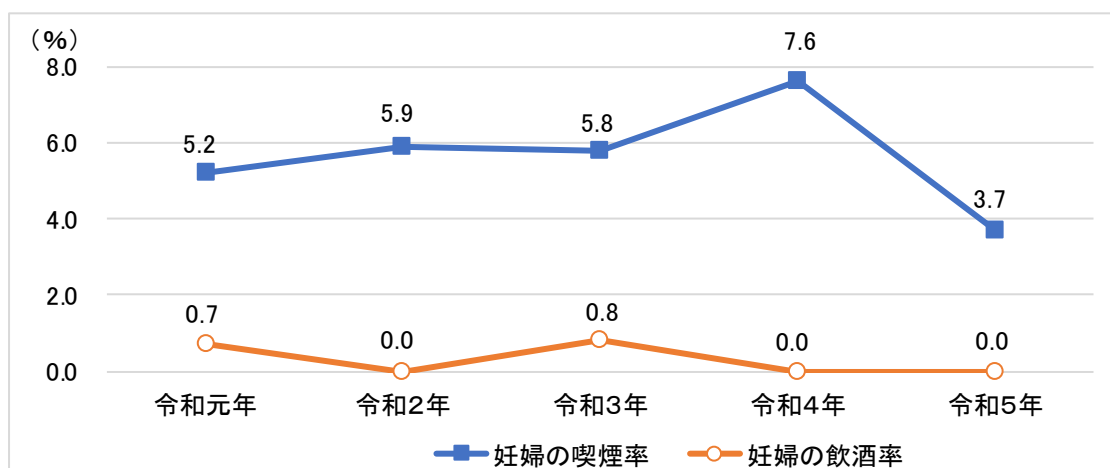
今後も、次世代の健康づくりと健全な育成のため、妊産婦や未成年者の喫煙・飲酒の害について、知識の普及・啓発に努める必要があります。

【妊婦の喫煙率（全道・全国）】

区分	全道	全国
平成12年度	—	10.0%
平成22年度	10.1%	5.0%
平成28年度	6.3%	—
令和3年度	3.8%	—

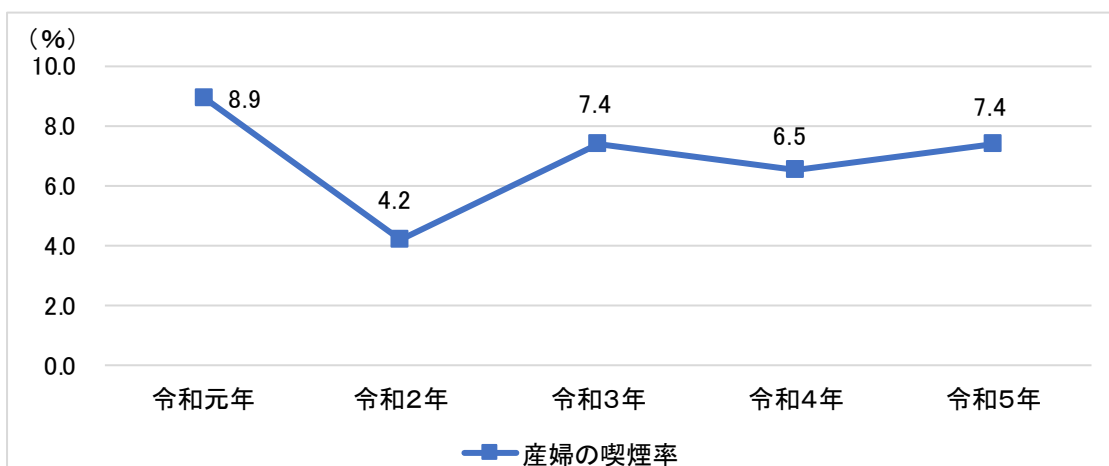
資料：全国は乳幼児身体発育調査報告、全道は北海道母子保健報告システム

【根室市における妊婦の喫煙率・飲酒率の推移】



資料：根室市こども支援課統計資料

【根室市における産婦の喫煙率の推移】



資料：根室市こども支援課統計資料（4か月児健診統計）

(3) 乳幼児健診の受診率の状況

4ヵ月児健康診査、1歳6ヵ月児健康診査、3歳児健康診査の受診率は96%前後で推移しており、未受診者については、家庭訪問や関係機関と連携した取り組みにより全ての乳幼児の状況を把握しています。他に、7ヵ月児健康相談、1歳児健康相談を、子育て相談所や図書館と連携して事業を展開しています。

今後も、乳幼児健診を充実し、各年齢における子どもの成長・発達の確認、注意すべき病気や障がいの早期発見に努めるとともに、事故防止対策や保護者への育児支援の推進が必要です。

(4) 幼児の虫歯、肥満、食習慣の状況

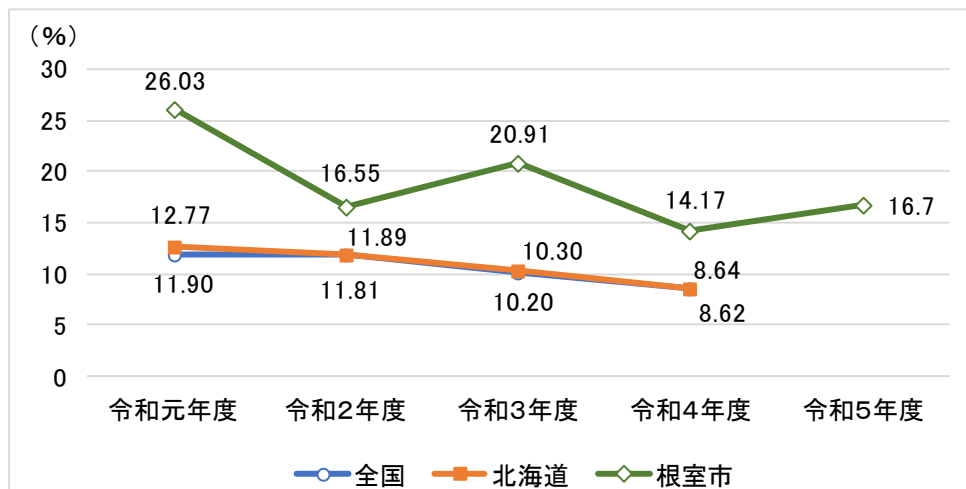
3歳児健診では、虫歯のある子の割合は全道・全国よりかなり高い状態で推移しています。肥満の子の割合については、5～8%で推移する年が多くなっています。

間食については、おやつ時間を決めていない家庭、おやつ回数が2回以上の家庭が半数程度となっており、このような習慣は、虫歯や肥満につながります。

根室市では、成人の肥満や高血圧・高血糖の有所見者が多くみられ、次世代の健全な食習慣等の生活習慣の形成が、地域の健康課題の解決にもつながります。

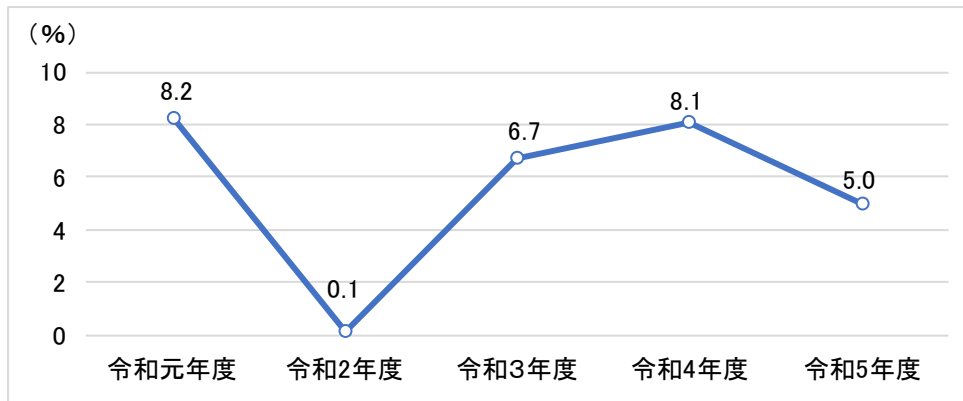
今後も、生活習慣の基礎づくりの推進に努める必要があります。

【3歳児健診虫歯のある子の割合】



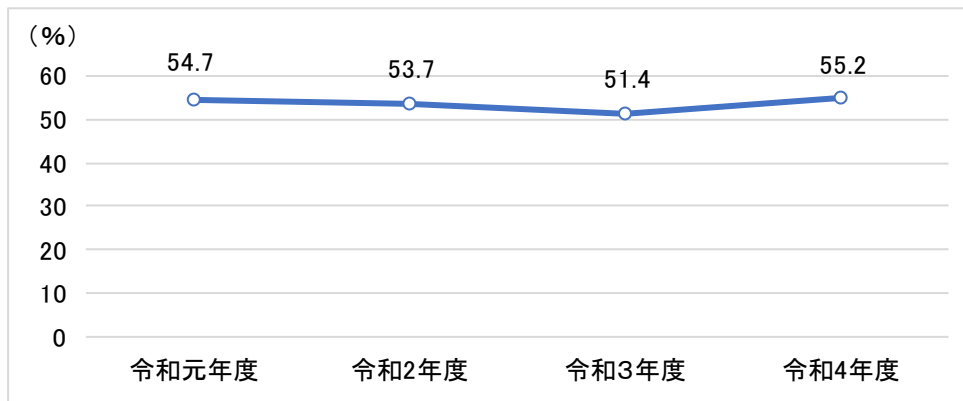
資料：全国と北海道は「地域保健・健康増進事業報告」（厚生労働省）、根室市は3歳児健診統計

【3歳児健診肥満の子の割合】



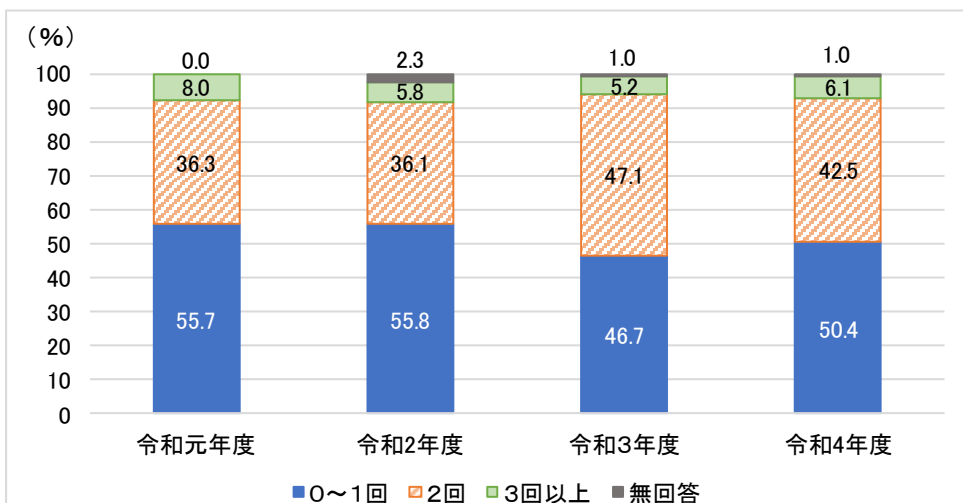
資料：根室市3歳児健診統計

【おやつを決めている割合】



資料：根室市食育健康教育（保育所・幼稚園）アンケート

【おやつ回数】



資料：根室市食育健康教育（保育所・幼稚園）アンケート